

「ムセオくっちゃん」基本方針 (案)

令和8年7月

俱知安町教育委員会

目次

1. 策定の背景及び目的.....	1
2. 基本コンセプト.....	1
3. 施設の位置づけと期待される効果.....	2
4. サービスを構築する機能	3
5. 建設場所・建物概要	4
6. スケジュール	7

1. 策定の背景及び目的

俱知安町では、これまで小川原脩記念美術館・俱知安風土館を通じて地域の芸術や自然・歴史文化の発信に取り組んできました。

こうした中、徳丸滋氏から俱知安町に対し、絵画作品と作品を収蔵・展示する「ムセオくっちゃん」を設計・建築し寄附したいとの提案がありました。

この施設は「子どもが芸術に触れ、創造力・感性が育つ場、若手作家が活動でき、地域発の芸術拠点が生まれる場、住民が気軽に立ち寄れる開かれた場」として、美術館・風土館と合わせて、俱知安の自然・文化を学ぶ郷土学習エリアとしての魅力向上が期待されることから、町として寄附の提案に同意し、事業を進めることとしました。

この事業を進めるにあたっては、徳丸滋氏が「ムセオくっちゃん」を設計・建築し俱知安町に寄附し、寄附後は俱知安町が建物を所有・管理し、美術館、風土館とともに芸術・郷土・次世代をつなぎ、俱知安の文化的未来を育てる「地域文化の発信拠点」となる施設として運営していくこととなります。

この基本方針は上記の背景に基づき「ムセオくっちゃん」の運営に関する方向性を定めることを目的として策定するものです。

2. 基本コンセプト

～芸術活動と郷土学習の融合、次世代へ向けた活動拠点の拡充～

この施設は寄附者の作品の収蔵、展示のみならず地域の作家の作品収蔵、展示も考慮して、地域の子供達や住民の方々にとって「芸術にふれ心を開く場」となり、さらには俱知安の自然・文化・歴史を背景に、芸術との出会いを通して「子どもから大人までが感性と創造の扉をひらく場」となることを目指しています。

また、小川原脩記念美術館、俱知安風土館と連携し、作品鑑賞だけでなく、地域の知・文化・自然とつながる体験を通して、未来を担う世代の創造力・探究心を育むエリアの形成を目指します。

① 地域住民が芸術にふれ心を開く場の提供

様々な作品をとおして若い世代や子どもたちといった未来の担い手達にこの地域に愛着を持ってもらい、絵画芸術、創作活動の糧となる場を提供します。

② 次世代の芸術家の育成

地域の若い世代などの作品の展示や活動ができる場を提供します。

③ 俱知安の歴史・文化との出会い

俱知安町の文化の場である小川原脩記念美術館、俱知安風土館を繋ぐ施設として、より一体感をもって「郷土」の価値の発見と発信を行います。

3. 施設の位置づけと期待される効果

(1) 位置づけ

羊蹄山やニセコアンヌプリ、樹木、雪、草花、虫など倶知安の自然と仏教的自然観を結びつけた豊かな絵画世界を展開してきた徳丸作品を収蔵、展示するほか、地域ゆかりの美術作家に関する展示等を行う文化施設とし、小川原脩記念美術館、倶知安風土館との連携により「芸術」「郷土学習」「地域文化」をつなぐ新たな文化拠点として位置付けます。

また、既存施設では補いきれなかった「芸術体験」「創作活動」「地域作家との出会い」を提供し、倶知安の文化資源を立体的に活用する“機能分館”としての役割を担います。

(2) 期待される効果

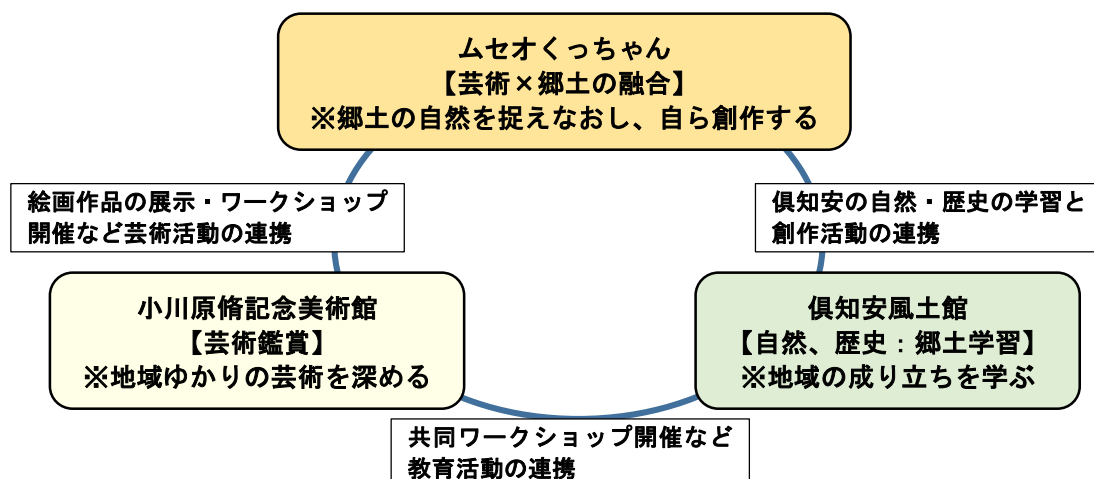
本施設のワークショップスペースなどを有効活用しながら、住民が良質で多様な芸術文化に出会い自由に体験できることで、豊かな感性と創造力を育む施設としての役割を担い「子どもが芸術に触れ、創造力・感性が育つ」「若手作家が活動できる地域発の芸術拠点が生まれる」「倶知安の自然・文化を学ぶ郷土学習の場が強化される」「美術館・風土館と合わせて、文化エリアとしての魅力が向上する」「住民が気軽に立ち寄れる開かれた文化施設が増える」といったことや、地域のアーティストとの交流の場として、未来の芸術家を育てるステップとなる施設となることが期待されます。

また、単なる展示空間ではなく「絵画に触れる体験の場」「創作活動のきっかけの場」「感性を育てる学びの場」を提供することで、地域住民にとって芸術が身近なものになると期待されます。

さらには、倶知安風土館で倶知安の自然について学び、ムセオくっちゃんで倶知安の自然が徳丸氏によってどう描かれたかを感じて自ら創作し、小川原脩記念美術館で地域ゆかりの作家の作品を鑑賞し表現に触れて理解を深めるという、このエリアを有効に活用することも可能となります。

なお、これらは寄附者の徳丸滋氏の「地域子ども達や住民の方々にとって”芸術にふれ心を開く場”となることを目指す」という思いにも沿うものです。

※小川原脩記念美術館、倶知安風土館、ムセオくっちゃんの連携



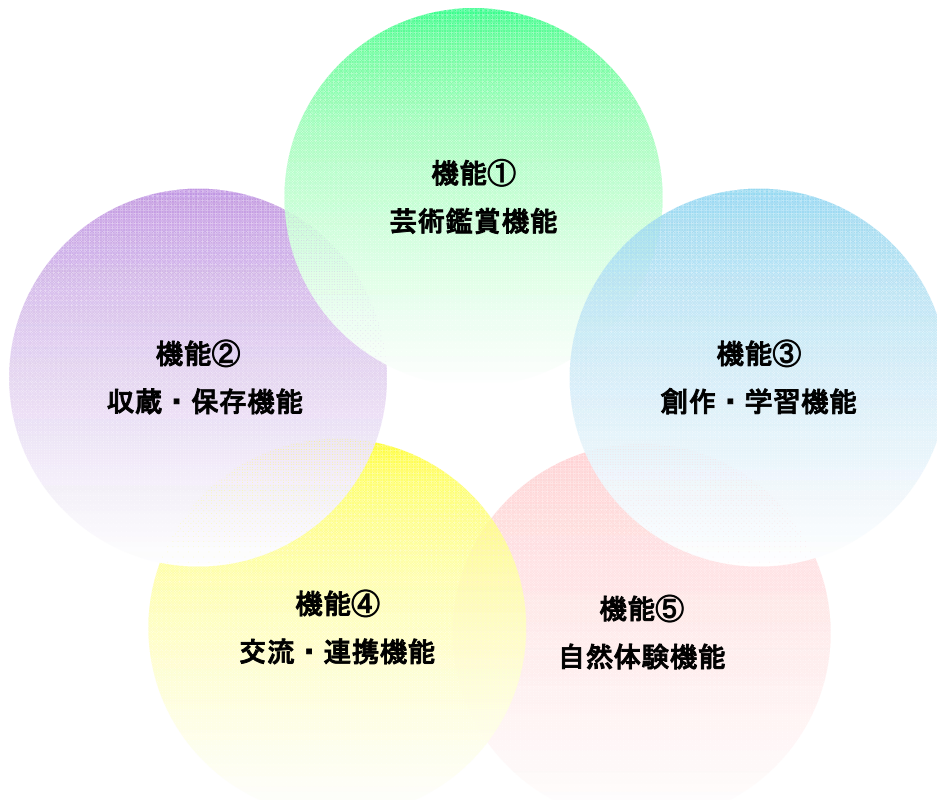
4. サービスを構築する機能

本施設の基本コンセプトを実現するため、以下の5つの機能を検討します。

※基本コンセプトを実現する、ムセオくっちゃんの5つの機能

【ムセオくっちゃん基本コンセプト】

「芸術活動と郷土学習の融合、次世代へ向けた活動拠点の拡充」



◆機能① 芸術鑑賞機能（展示室）

作品との出会いを通して、感性と創造力を育む中心機能。

- ・徳丸作品をはじめ、地域ゆかりの作家の作品を展示
 - ・倶知安の自然観（羊蹄山・雪・樹木・虫など）と作品を結びつけたテーマ展示
 - ・年齢・ジャンルを越えた多様な作品との出会いを創出
 - ・小川原脩記念美術館・風土館との連携展示を実施
- 芸術を通じて郷土の価値を再発見する場としての機能

◆機能② 収蔵・保存機能（収蔵庫）

地域の文化資産を未来へ継承する基盤機能

- ・寄贈作品を適切に保存・管理
 - ・作品の調査・記録・整理を行い、地域の文化資源として体系化
 - ・バックヤードツアーなど、収蔵庫を活かした学習プログラムも検討
 - ・収蔵庫と展示室を連動させ、作品の循環的活用を図る
- 倶知安の芸術文化を未来へつなぐアーカイブ拠点としての機能

◆機能③ 創作・学習機能（ワークショップスペース）

芸術と郷土学習を融合し、創造力を育む体験機能

- ・子どもから大人まで参加できる創作ワークショップ
- ・倶知安の自然（雪・植物・虫・山）を題材にしたアート体験
- ・地域作家・住民との協働による創作活動
- ・自分の作品を展示できる「ミニギャラリー」機能
→ 「見る・つくる・伝える」が循環する創造の場として機能

◆機能④ 交流・連携機能（地域文化のハブ施設）

芸術・郷土・人をつなぐ文化交流機能

- ・地域作家と住民が会う場を創出
- ・観光客と地域住民が混ざり合う文化交流
- ・美術館・風土館との合同企画展や連携事業
→ 地域文化の循環を生むハブ施設としての機能

◆機能⑤ 自然体験機能（屋外連動）

倶知安の自然環境を活かした芸術体験機能

- ・自然光を活かした展示空間
- ・屋外でのアート体験（雪の造形、植物観察）
- ・自然と展示をつなぐ季節イベント
→ 自然と芸術が融合する倶知安らしい体験拠点として機能

こうした機能を継続していくため小川原脩記念美術館、倶知安風土館との連携が必要であり、さらには地域作家や住民の方々にも施設の活用やイベントなどに携わっていただきながら、このエリアの活性化に取り組んでいきます。

5. 建設場所・建物概要

(1) 建設場所

虻田郡倶知安町北6条東7丁目1番地3の内

《当該地の立地の考え方》

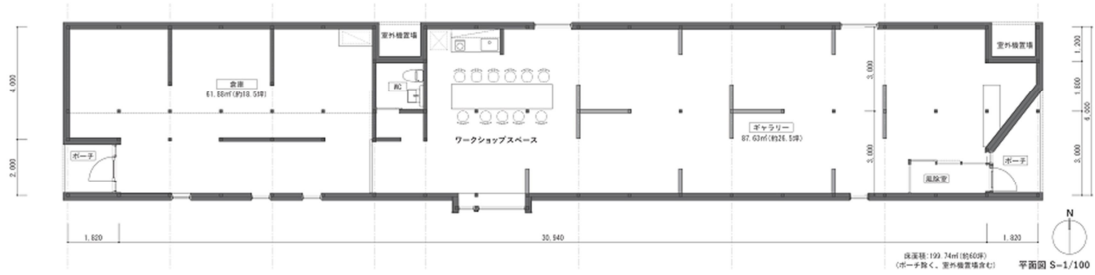
- ① 小川原脩記念美術館と、倶知安風土館という2つの文化施設を擁し当町の文化発信の拠点として位置付けられており、この場所に郷土の自然を芸術的感性で捉えた徳丸作品を有する新施設を設置することにより、芸術活動と郷土学習の融合が期待できること。
- ② 芸術活動と郷土学習の融合、次世代へ向けた活動拠点の拡充を目的とした施設の設置により、既存施設を含めた文化拠点の充実を図れる場所であること。

(そ の 他) 展示室、収蔵庫、ワークショップスペースを配置し、一体的な運用を図る。

[illegible]

-5-

○建物平面イメージ〈参考〉



○建物立面イメージ〈参考〉



○建物内観イメージ〈参考〉



※徳丸作品や地域作家の作品を収蔵できる収蔵スペースと作品の展示スペース、地域子ども達や住民の方々が気軽に芸術に触れ、若い世代の作家が活動できる場としてのワークショップスペースが設けられており、美術館、風土館とあわせて人々が気軽に訪れることのできる場を形成します。

6. スケジュール

- ・令和7年4月 俱知安町議会厚生文教常任委員会に報告
- ・令和8年4月 俱知安町議会厚生文教常任委員会に報告
- ・令和8年6月 負担付寄附受納について俱知安町議会議案上程・承認
- ・令和8年 月 基本方針（案）について町民意見募集
(町民意見募集期間： 月 日～ 月 日（予定）)
- ・令和8年度中 建設着工
- ・令和8年度中 完成予定



ムセオくっちゃん イメージパス